

# nagomi なごみ



## index

### 特集

## 年頭御あいさつ

- 「お薬手帳」  
正しく使っていますか？

### イベント紹介

- 尾張北部地区消防合同消防訓練
- 第39回江南市農業まつり
- のぞみ会・ふじの会日帰りバス旅行
- 共に考える地域の小児医療～広げよう子どもの笑顔～
- 公開医療福祉講座
- 大正琴ミニコンサート
- 秋のギフトソング♪

### お知らせ

- 看護職員募集
- 保険証の確認について
- 面会のご案内
- 編集後記
- 診療日カレンダー

### 病院理念

- 一. 私たちは「患者さん中心の医療」を実践します
- 一. 私たちは患者さんの安心と信頼を得るように努力します
- 一. 私たちは医療人としての誇りと自信を持って行動します

## 年頭御あいさつ

院長 加藤 幸男



新年あけましておめでとうございます。

江南厚生病院は、平成20年5月の開院後、3回目の新年を迎えることができました。

これは職員の日々の努力とともに、地域の皆様の御理解、御支援の賜物であり、心より御礼申し上げます。

さて、全国で医師不足が叫ばれて久しいのですが、一向に改善の兆しがみえません。

当院でも、開院時に予定した診療科の医師の確保ができず、いまだに開設できない診療科がいくつかあり、まだ予定もたちません。

私は平成11年4月に昭和病院の院長になりましたが、わずか数年のうちに、一部の診療科で医師不足が言われるようになりました。その後、医師不足は年々ひどくなり、さらに平成16年4月より導入された医師新臨床研修制度の開始は、さらに医師不足に輪をかけ、全国至る所で、特に地方においては、大幅な規模縮小や、閉院を余儀なくされる病院もでてきてしまい、医療崩壊が現実となりました。

その原因は、絶対的医師不足が最大のもので、次いで診療科の偏在、地域による偏在があります。絶対的医師不足の原因の責任はもちろん国にあります。この国の政府は、この30年間違った医療政策をとり続け、取り返しのつかない結果を招いてしまいました。

私が医師になった1970年頃は、人口10万人あたりの医師数はOECD諸国の平均をわずかに下回る程度でしたが、今ではわずか7割になってしまいました。1980年代になると、医療費抑制策のため1970年代に、一県一医学部の政策で増加した医学部の定員を削減しました。その政策は、医療崩壊が叫ばれるようになっても続き、ほんの2、3年前にやっと変更されました。その結果、この国においては医師数の増加のスピードはゆっくりとなり、OECD諸国との差はどんどん開いていきました

が、政府は医療費抑制のため何の対策もしませんでした。その間、医療高度化専門化による医師の必要数の増加の他に、医療安全、インフォームドコンセントの充実のため、現場の医師、特に病院の勤務医はどんどん過重労働を強いられました。

さらにこの国では欧米諸国と異なり、医療事故があると国家権力(警察・検察)は個人の刑事責任を追及し、刑事事件として立件するようになりました。さらに悪い事は、世界保健機関(WHO)が日本の医療は総合的にみて世界第1位だとしたにもかかわらず、この国のマスコミは国の意向に迎合して医療事故を極めてセンセーショナルに報道し、国民に医療不信を植え付けました。さらに国家権力は情報をマスコミにリークし、医療事故を起こした医師を連行するところを撮影させ、マスコミはこぞってこれを電波にのせました。欧米諸国ではこんなばかなことは起こりません。医療事故の再発防止を第一に考え、該当医師に行政処分はありますが、刑事事件として逮捕されるのは、ほとんど故意の医療行為のみです。このことは、この国においてはより生命に関係する診療科を選ぶと刑事事件の容疑者として逮捕される可能性があるということを意味します。日々、入院患者のため時間外に診療したり、日当直により過重労働で疲労こんぱいしていることが医療事故の最大の原因にもかかわらず(それは政府の政策の失敗によるものですが)、それには目をつむり、医師個人の責任を追及するのがこの国の国家権力なのです。そのため、もう病院に勤務するのはつらいと勤務医は病院を去っていきます。

私はこの国の医師の未来に明るい期待、希望をもつことはできません。もう3、4年すると新しく医学部を卒業する人数は少しずつ増えていくでしょう。しかし、より生命に関係する診療科を志望する医師が大幅に増加し、今の過重労働から解放さ

れて人間的な生活ができる日が近い将来来るとは  
とても考えられません。

医療崩壊をもたらした責任は国、マスコミ、そし  
て国民です。時間外に受診して軽症にもかかわ  
らず「信用ならない、専門の科の医師を出せ」、時  
間外や休日に病院に来て「入院患者の家族、親  
戚だが病気の説明を聞きたいから主治医を呼  
べ」等、実際の診療以外に患者、家族のわがまま  
に医師も疲れはてています。さらに、医師は365日  
24時間いつでも診て当たり前、あるいは重症で入  
院して結果が悪いのは医師の治療が悪いからだ  
と考える家族もいます。このような患者、家族に  
時々遭遇すると、たとえ私生活の一部を犠牲にし  
ても、病に苦しむ患者を診療するのが責務だと信  
じている医師ですらむなしさを覚え、虚脱感にお  
そわれ、それが度重なるにつには病院を去って  
いきます。

医師そして病院は、その地域にとって、なくてはな  
らない社会基盤です。その社会基盤が機能不全  
におちいったら、その地域はもはや一つの地域社  
会として成立しないでしょう。

長々とまとまりのない話を書き、又、一部には皆  
様に耳障りなことも書きましたが、まだ当分の間、  
絶対的医師不足は続き、その間、大都市はともか  
くも地方では全国どこでも、いつでも医療崩壊が  
おこってもおかしくありません。

このような状況のなか、私達はこの江南を中心と  
する尾北の地の地域医療を守り抜くために、この  
江南厚生病院を開院しました。

どうかまだまだ満足できない点が多々あると存じ  
ますが、職員一同この使命を果たすため全力を  
尽くす決意ですので、温かい眼で今まで以上の  
御理解、御支援を心よりお願いして新年の御あい  
さつとさせていただきます。

## Special feature article 2

### 特集

「お薬手帳」正しく使っていますか？

# 「お薬手帳」正しく使っていますか？



薬剤供給科 主任薬剤師  
高田 泰尚

皆さんは、どのように「お薬手帳」を利用していますか？  
そもそも「お薬手帳」ってどういう役目を持っているのでしょうか？？

「お薬手帳」を病院や薬局で提示すると・・・

- ・医師や薬剤師・看護師は、飲んでいるお薬の内容をすぐに確認することが出来ます。
- ・複数の医療機関にかかっている場合、薬の内容や飲み合わせなどのチェックをすることができます。
- ・お薬の変更や増量、減量なども順を追って確認することが可能です。
- ・気になる症状が、飲んでいる薬の副作用かどうかを調べることが可能です。

「お薬手帳」は、皆さんのお薬の歩みを記録する大事な手帳です。  
しかし、医療機関ごとに手帳を作ったり、毎回新しい手帳を作ったりし  
てしまうと、正確なお薬の情報がわからなくなってしまいます。  
次のように使っていただくことをオススメします！

- ・「お薬手帳」は一冊で管理し、どこの医療機関へ行っても同じ手帳を提出しましょう。
  - ・市販のお薬を購入するときも「お薬手帳」を提示し、内容を確認・記入してもらいましょう。
  - ・「お薬手帳」は出来るだけ常に携帯するようにしましょう。
  - ・何か体調の変化などが現れた場合には、記録をしておくとう便利です。後発医薬品（ジェネリック薬品）の普及に伴い、「お薬手帳」から得られる情報が大切になってきていますので、病院へかかる際は「お薬手帳」をお持ち下さい。
- ぜひ「お薬手帳」を正しく、有効活用していただきたいと思います。



## 尾張北部地区 消防合同消防訓練

11月20日(土)に送迎バスと乗用車2台がからむ交通事故により、多数の傷病者が発生したため、災害拠点病院である当院で受け入れを行なう想定尾張西北部地区合同消防訓練を江南市消防本部と合同で行ないました。

当院は愛知県より災害拠点病院(地域災害医療センター)に指定されており、災害発生時においても被災状況に応じた適切な医療体制を確保できるよう今後も行政と一体となった災害訓練を行ない、体制整備に努めて参ります。



11月20日



11月13・14日

## Event イベント紹介



## 第39回 江南市農業まつり

「第39回江南市農業まつり」が、11月13日(土)・14日(日)の2日間「すいとびあ江南」にて開催されました。江南厚生病院からは健康管理課を中心に、延べ25名のスタッフにて「健康相談コーナー」を昨年に引き続き出展させていただきました。

内容は、身長体重計測・視力測定・血圧測定・血管年齢測定・骨密度測定などに加え、感染管理認定看護師による感染対策相談や保健師による健康相談、管理栄養士による栄養指導を行いました。

2日間で367名の方が利用され、盛況のうちに終わることができました。ご来場いただいた方々のご協力に感謝いたします。

## のぞみ会・ふじの会 日帰りバス旅行

10月24日(日)、血液・腹膜透析患者会のぞみ会とストーマ人工肛門・人工膀胱患者会ふじの会合同日帰りバス旅行を実施しました。病院関係者を合わせて総勢38名の参加がありました。午前中は麒麟ビアパーク名古屋でビール工場を見学して、できたてのビールを試飲しました。おいしかったです。

午後からは日本昭和村に行き、昼食を取り昭和村の中を散策しました。途中から雨が降ってきて、ゆっくり散策できなかったことが残念でした。

親睦も深まり楽しい一日でした。今後もイベントを企画して、交流をしていきたいと思ひます。



10月24日



## 「共に考える地域の小児医療 ～広げよう子どもの笑顔～」

「江南市地域まちづくり補助金事業」の一環として、NPO法人子どもと文化の森に主催していただき、「共に考える地域の小児医療～広げよう子どもの笑顔～」というタイトルで2つのイベントを行いました。

ひとつめは、9月4日(土)病院の講堂で一般患者さんやご家族のため、こども医療センターで小児科病棟入院中の子どもたちのために「アンディ先生のマジックショー」が開催されました。プロのマジシャンの方々のマジックの数々や瞬間移動に皆驚きや歓声があがり、夢中になって楽しむ事ができました。

また、9月28日(火)には江南市民文化会館で「こんな時には注意しましょう!こどもの病気」というタイトルでこども医療センター副センター長の西村直子先生に、地域住民向けに専門医として知っておいてほしい知識や情報をお話しいただきました。多数の住民の方にお集まりいただき大好評で終了し、今後もこうした専門医によるお話が地域でできることを望まれる声が多数ありました。地域のNPOの方々のお力添えで、こうした活動ができたことを病院としても感謝いたします。



アンディ先生のマジックショー



西村直子先生講演



外山ソーシャルワーカー

## 公開医療福祉講座

9月2日(木)「知って得する!療養中の社会保障制度」というテーマで医療福祉相談室の外山ソーシャルワーカーより、難解な「社会保障制度」の話を、わかりやすくお話しいただきました。

11月12日(金)には「患者さんの心をつなぐ緩和ケア」というテーマで、祖父江専門看護師より「緩和医療」や「緩和ケア病棟」についてのお話を伺いました。また、患者家族側の心構えなどもお話しいただきました。

どちらも、多数の患者さんやご家族の方の参加があり、こうした講座を今後も継続してほしいという要望に、次年度も計画をしていきたいと思いをします。



祖父江専門看護師

# 看護職員募集

平成23年4月採用の看護職員を募集中です。

〈病院説明会および職員選考会開催予定〉

開催日	説明会	選考会
1月18日(火)	9:30～	14:00～
3月7日(月)	9:30～	14:00～

○説明会は前日まで、選考会は1週間前までにお申し込みください。

○資料請求のあった方にパンフレットをお渡ししています。詳しくは病院ホームページをご覧ください。

○中途採用も随時受付しています。お問い合わせは…看護管理室まで TEL0587-51-3332

一生のシゴト、  
はじまる。

じっくり成長していこう。ずっと続けてほしいから。

## イベント



10月8日

### 大正琴 ミニコンサート

10月8日(金)講堂で、琴正流菊八重会による大正琴ミニコンサートが開催されました。年配の方の参加が中心でしたが、演歌、童謡などを口ずさみながら、心も身体もリフレッシュされたことと思います。



11月5日

### 秋の ギフトソング

11月5日(金)講堂で、愛知江南短期大学のでこぼこ音楽隊による「歌」と「音楽」や「マジック」を織り交ぜたイベントが開催されました。参加した子どもたちを中心に、「笑い」がたくさんあり、和やかな一時を皆で過ごす事ができました。江南短期大学の学生さんありがとうございました。

### ●保険証の確認について

当院では毎月一度保険証の確認を行っています。外来受診の際は各外来受付か新患受付へ、入院中の方はスタッフステーションに保険証をご提示ください。なお、保険証、氏名、住所、電話番号等の変更があった場合もご提示をお願いいたします。

### ●面会のご案内

平日	15:00～20:00
土・日曜日・祝日	13:00～20:00

※4人床の面会は、同室の患者さんの迷惑にならないように談話コーナーなどをご利用ください。

※患者さんの安静は治療上大切です。容体によっては面会をお断りする場合があります。

### 編集後記

●当院では月1回程度、2階講堂にてボランティアの方々を中心に、ミニコンサートを開催しています。日程はその都度ポスターでご案内しますので、お時間のある方は是非お越しください。

## 2011年 診療日カレンダー

■ 休診日(第2・4・5土曜日は休診です)

● 午後休診

1月						
日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23 30	24 31	25	26	27	28	29

2月						
日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28					

3月						
日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

●発行日/平成23年1月1日

●発行/JA愛知厚生連 江南厚生病院 広報委員会

〒483-8704 愛知県江南市高屋町大松原137番地 TEL(0587)51-3333 FAX(0587)51-3300